



敬愛

校長 吉田 修

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

校長 吉田 修

麗春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、私は、この4月1日付けで府中第三中学校に着任いたしました校長の吉田 修と申します。持田 晃前校長先生をはじめ、歴代の校長先生方や教職員が保護者、地域の皆様によって支えられた中で築いてこられた府中第三中学校の歴史をさらに発展できますよう努めてまいります。これまで同様に御支援・御協力をお願い申し上げます。

本校の教育目標は

「自他の敬愛」

- (1) 自分を大切にし、他人を尊敬し、楽しい学園を作ろう (生活)
- (2) よく運動し、衛生に注意し、健康な身体を作ろう (健康・安全)
- (3) よく勉強し、個性を伸ばし、役に立つ人になろう (学習)
- (4) 勤労をよろこび、苦難にうち勝ち、正しく強く生きていこう (進路)

です。

- (1) を受けて「励まし合い、支え合う生徒」を目指します
- (2) を受けて「健康・安全に配慮できる生徒」を目指します。
- (3) を受けて「主体的に学ぶ生徒」を目指します。
- (4) を受けて「自己実現に努める生徒」を目指します

さらに、府中三中では今年度新たな目標として「自主・自律 誠実」を掲げます。

「自主」とは判断を他人に左右されずに、自分で決定することができる力です。「自律」とは自分の内に規律を作り、それに従って行動しようとする気持ちです。

すなわち、自分の内に規則をつくり、他人に左右されずによいであろうことを自分で決定する。どんなに小さい行為でも自分で考え、自分の意志で決定すると自覚することで、自立的な生き方ができ、自分の責任によって生きる自信が育ち、人としての誇りをもてるようになります。そして、これは、すがすがしい明るい心で私利私欲を交えずに真心を込めて行うことできる「誠実」につながります。

義務教育最後の三年間で「自主・自律 誠実」を目標に自分自身をつくってもらいたいと思います。これらの目標を実現するために教育環境を整え、生徒に人間力を身につけさせる教育活動を職員が力を集結し取り組んでいくつもりです。

(裏面に続く)

入学式から

新入生のみなさん、皆さんは府中第九中学校の新たな一步を踏み出す第六十三期生となります。この歴史と伝統のある本校に入学したことを誇りに思って欲しいと思います。

さて、本校の教育目標は「自他の敬愛」

- (1) 自分を大切にし、他人を尊敬し、楽しい学園を作ろう（生活）
 - (2) よく運動し、衛生に注意し、健康な身体を作ろう（健康・安全）
 - (3) よく勉強し、個性を伸ばし、役に立つ人になろう（学習）
 - (4) 勤労をよろこび、苦難にうち勝ち、正しく強く生きていこう
- の四つです。

この4つの目標を達成するためのキーワードは「創造」「思いやり」「活力」です。

「創造」とは新しいものを創り出す力です。これは、これからの社会で求められてくる力でもあります。創造力は突然舞い降りてくるものではありません。日常の生活の中で考える習慣をもち、考え抜いた末に得られる力です。何事に対しても考え抜く強い意志を育みましょう。

「思いやり」とは、自分も相手も共にかけがえのない存在であることを自覚し、思いやりの言葉や感謝の気持ちを素直に伝える心が自分と相手の絆を強くします。相手の気持ちを考え「思いやり」のある心を育てていきましょう。

「活力」を充実させるために大切なことは、生活習慣を整え、節度を守り節制することです。それにより心身の健康が増し、気力に満ち溢れた充実した人生を送ることがができます。節度を守り節制を心がけることで、自分自身の将来が豊かになるということを自覚できるようになってもらいたいと願っています。

また府中三中スローガンとして「自主・自律・誠実」があります。

「自主」とは、善悪の判断など他人に左右されずに、自分で決定することができる力です。

「自律」とは、自分の内に規律を作り、それに従った行動しようとする気持ちです。

したがって「自主・自律」とは、自分の内に規則をつくり、他人に左右されずによいであろうことを自分で決定することです。

どんなに小さい行為でも自分で考え、自分の意志で決定していくと自覚することができれば、自立的な生き方ができ、自分の責任によって生きる自信が育ち、人としての誇りを持てるようになります。

そして、それはすがすがしい明るい心で私利私欲を交えずに真心を込めて行うことできる「誠実」につながってきます。「誠実」な人。それが人間として一番大切だと考えます。

ぜひ、義務教育最後の三年間で「自主・自律・誠実」を目標に自分自身を創ってってもらいたいと思います。

そして学校生活のあらゆる場面で、まず人に対してあたたかい心、やさしい思いを「言葉」で伝えましょう。さらに、その「言葉」を「行動」にかえて示していきましょう。そうすれば、仲間との間に確かな信頼関係が生まれ、皆さんの中学校生活はさらに豊かなものになっていくはずですよ。



私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓
NO55

「～知は力なり～」

教諭 大濱 夏史

この言葉は、私が中学3年生の時の社会科の先生から聞いた言葉です。この言葉を聞いた当時の私は、「なるほど」と納得したのを覚えています。みなさんは、聞いたことがあるでしょうか？調べてみると、イギリスの哲学者であるフランシスコ・ベーコンという人が残した言葉でした。「経験によって得られた知識を実際に力にしていけることが大切である」という意味で、今までの経験と様々な情報を基に仮説を立て、実践を行い、その結果を次につなげていくという考え方で。どんな人でも失敗は怖いものです。その失敗をする確立を少しでも下げるためにも事前の準備はとても大切になります。また、自分の身を守るためにもたくさんの知識をもっておくことは必要になります。何も知らない人を言葉巧みに騙そうとする悪い人もいます。ぜひ、中学生の皆さんもたくさんの経験をして、たくさんの知識を身につけてほしいと思います。

三中生の活躍

和太鼓部

「第11回府中市中学校和太鼓コンクール」

「敵闘賞」 府中市立府中第三中学校



☆学校電話の時間外留守番電話の設定について

本校では、下記の時間帯は留守番電話での対応となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

《運用時間》

- (1) 平日 19時00分から翌朝7時30分まで
- (2) 土・日・祝日 終日となります

※事故等の発生など生徒の身体・生命にかかわる緊急連絡については、
府中市役所に連絡してください。 電話 042-364-4111